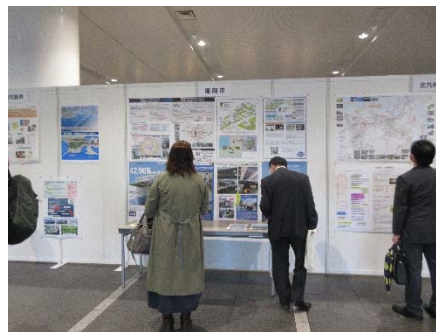
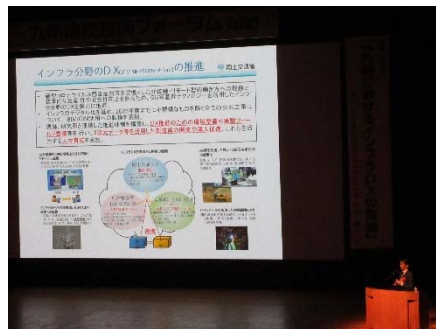
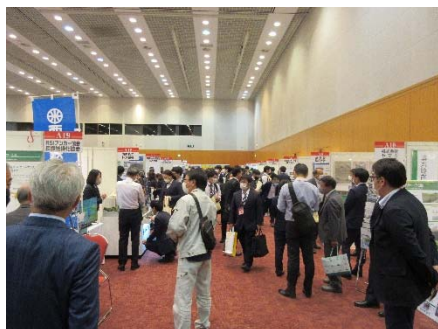


九州建設技術フォーラム 2021

- 日程 2021年10月25日(月)・26日(火)
- 会場 福岡国際会議場 1F・2F・3F・4F (福岡市博多区石城町2-1)
- 主催 九州建設技術フォーラム実行委員会



【開催報告】

1. 「九州建設技術フォーラム」開催主旨及び実施概要

九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及の促進をより効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、意見交換会等の形をとりながら連携を深め九州のさらなる建設技術の発展を目指すものです。

今年は、メインテーマの「インフラ DX の推進～新たな社会の構築に向けて～」を踏まえ、基調講演では九州地方整備局企画部長で、インフラ DX 推進センター長の森下博之氏に講演いただきました。また、初めての試みとしてオンラインによる技術情報発信方式として WEB サイトを開設しました。ブース展示は全体で 81 組織、出展技術数は 107 を数え、また WEB サイトを活用して情報発信を行ったのは、85 組織でした。

今年は新型コロナ感染拡大防止対策に配慮して対面式のプレゼンテーションの実施を取りやめる代わりに、WEB サイトを開設してオンラインによる技術情報の提供を行いました。アンケート結果を見ると、回答者の 8 割近くが今後もオンラインによる情報発信を希望しており、高い支持を得たことが伺えます。ただ、対面式のプレゼンテーションを中止したことで CPD 受講証明書の発行対象プログラムが基調講演のみとなったことに加え、学生の団体参加がなかったことが、来場者数が落ち込む要因になったと考えられます。来場者数は 2 日間で 2,123 名（1 日目：1,165 名、2 日目：958 名）に止まり、前年比較で 219 名の減でした。

また、同時開催イベントとして「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム第 5 回ピッチイベント」も行いました（※開催は 10 月 26 日のみ）。

2. 開催結果

○リアル展示等開催（ブース展示・ポスターセッション・基調講演等）

【開催日時】 1 日目：令和 3 年 10 月 25 日（月） 13:00～17:00
2 日目：令和 3 年 10 月 26 日（火） 10:00～16:30

【開催場所】 福岡国際会議場 1F ロビー、2F 多目的ホール、3F メインホール
（福岡市博多区石城町） TEL.092-262-4700

○オンライン開催（WEB サイト）

【閲覧期間】 令和 3 年 10 月 25 日（月）～令和 3 年 11 月 26 日（金）

3. 実施内容

●開会式



○実行委員会役員整列



○主催者挨拶（園田委員長）

●1日目(25日)

(1) 基調講演 ※聴講者は 517 名

- ・演題：「九州におけるインフラ DX の取組」
- ・講師：森下 博之氏（九州地方整備局企画部長（インフラ DX 推進センター長））



○会場風景



○講師（森下氏）



○サブ会場（401～403 会議室）



○YouTube の WEB 中継（パソコン受信画面）

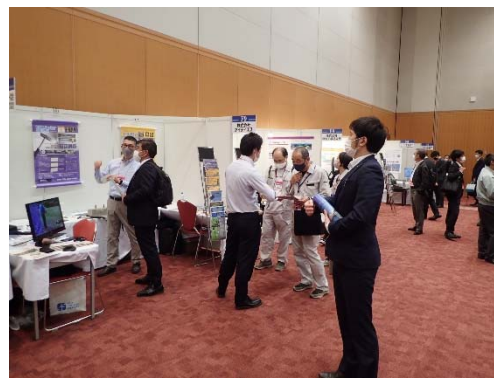
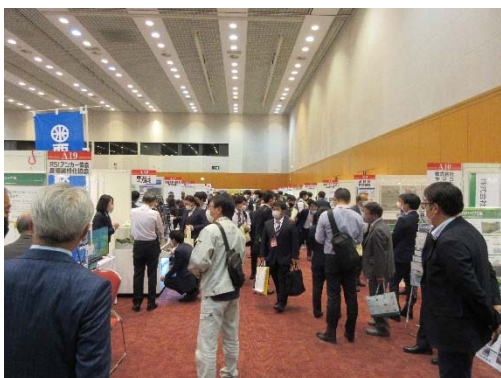
(2) 技術情報提供

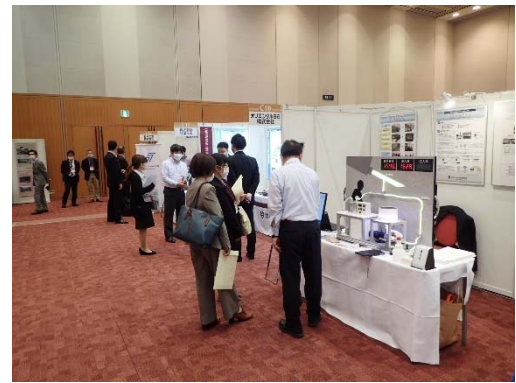
●1日目(10月25日)

1) 技術情報のブース展示（※10月25日・26日の2日間）

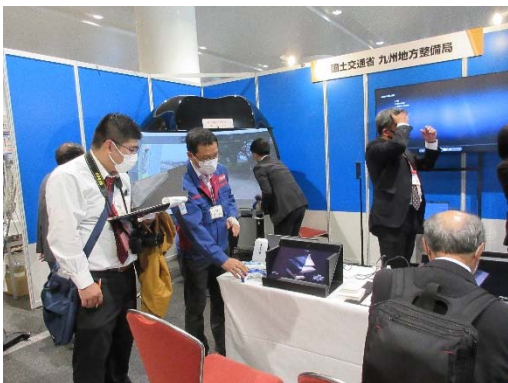
- ・テーマ：「インフラ DX」「安全防災」「維持管理」「環境」「品質」「コスト」学会関係
- ・出展数：81 ブース（出展者数：1階 11 ブース 2階 70 ブース）

▼2階展示会場





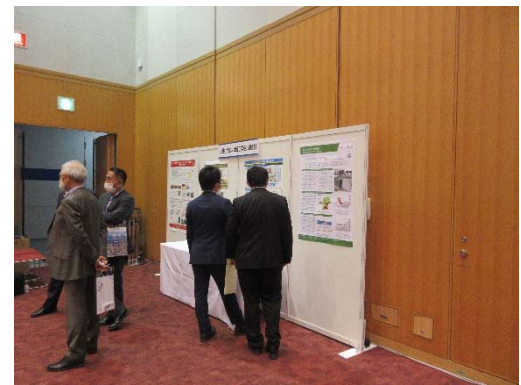
▼ 1階展示会場





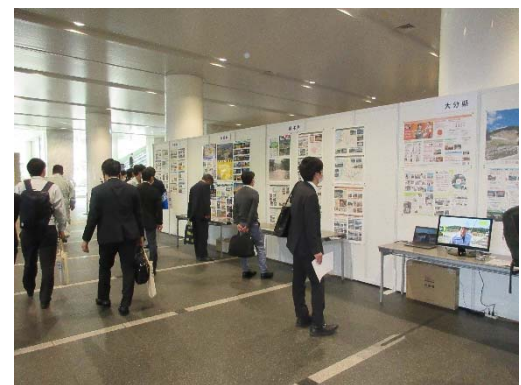
2) ポスターセッション

・ 出展者数：7（協会等：3 学会関係：3 行政（国）：1）



3) 自治体パネルの展示

・ 出展自治体：10 自治体（福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県
鹿児島県 福岡市 北九州市 熊本市）





4) WEBサイトによるオンライン出展

- ・ 出展組織 85 企業・協会（団体）： 80 学会： 3 官： 2
- ・ 閲覧期間： 令和3年10月25日～令和3年11月26日
- ・ 閲覧者数： 延べ 675 人
- ・ 閲覧ページ数（アクセス数）： 4,759 回



○TOP ページ

- メインコンテンツ：①開催プログラム ②出展者等紹介 ③「基調講演」LIVE 配信
④アンケートのお願い

九州建設技術フォーラム 2021
インフラDXの未来

092-284-9211 (受付時間: 9:00~17:00)

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお便り

開催プログラム

| 10月25日(月曜日)

時間	場所	内容
12:30~	2Fロビー	受付開始
13:00~13:15	2Fメインホール	開会式 実行委員長挨拶 基調講演 ※講演は、以下の YouTube で LIVE 配信。 https://youtu.be/sGZu-LejgaQ
13:15~14:15	2Fメインホール	「九州におけるインフラDXの取組」 講師 国土交通省九州地方整備局 企画部長 森下 博之 氏 技術情報の提供
14:15~17:00	1Fロビー 2F多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ■1Fロビー・2F多目的ホール <ul style="list-style-type: none"> ・ブース展示/ポスターセッション/自治体パネル展示 ※対面方式のプレゼンテーションはありません。 ■オンラインWEB サイト <ul style="list-style-type: none"> ・(12:00から許可可能)

※リクルーティングプレゼンテーションは、専用ホームページで動画配信

| 10月26日(火曜日)

時間	場所	内容
9:30~	2Fロビー	受付開始

○「開催プログラム」の詳細ページ (第2階層)

九州建設技術フォーラム 2021
インフラDXの未来

092-284-9211 (受付時間: 9:00~17:00)

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお便り

出展者等紹介

福岡国際会議場の1Fロビー及び2F多目的ホールを会場に、ブース展示での技術情報の発信をしていただきます出展者を、インフラDX・安全防災・維持管理・環境・品質・コストのジャンル別に紹介します。また学会からも3機関の情報を紹介します。

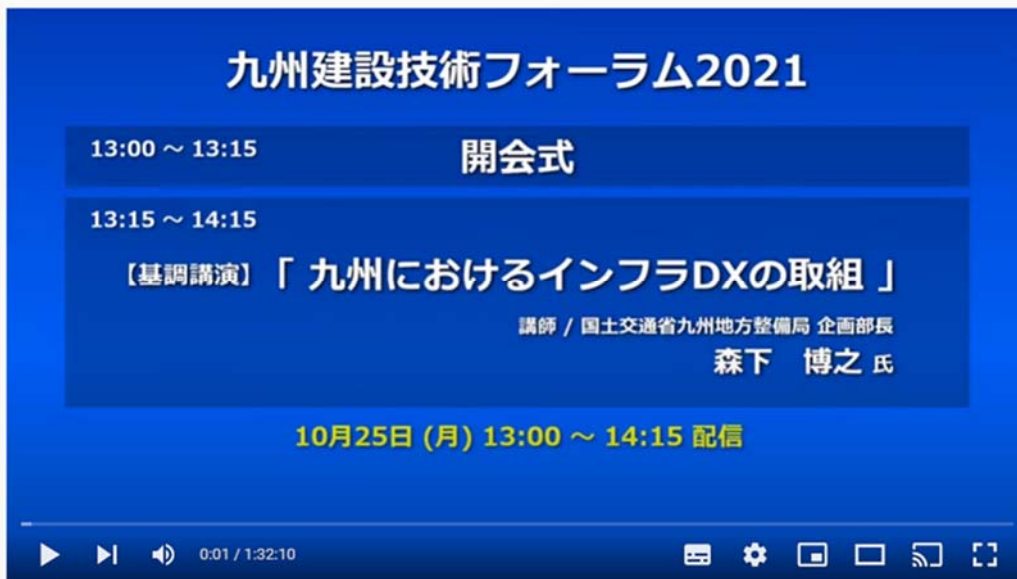
| 出展者検索

検索したい企業名や技術情報名を入力後、Enterキーを押してください

| 出展者ジャンル(タイトルをクリックしたら一覧が表示します)

- インフラDX
- 安全防災
- 維持管理
- 環境
- 品質
- コスト
- 学会
- 官

○「出展者等紹介」の詳細ページ (第2階層)



九州建設技術フォーラム2021

○「基調講演」LIVE 配信の YouTube 画像



○「アンケートのお願い」の詳細ページ (第2階層)

九州建設技術フォーラム 2021
オンラインバージョン

092-284-9211 (受付時間: 9時~17時)

お問い合わせ

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお便り

出展者等紹介

福岡国際会議場の1Fロビー及び2F多目的ホールを会場に、ブース展示での技術情報の発信をしていただきます出展者を、インフラDX・安全防災・維持管理・環境・品質・コストのジャンル別に紹介します。また学会からも3機関の情報を紹介します。

出展者検索

検索したい企業名や技術情報名を入力後、Enterキーを押してください

出展者ジャンル(タイトルをクリックしたら一覧が表示します)

- **インフラDX**

アイサンテクノロジー株式会社	大規模点検データ高速構築ツール
あおみ建設株式会社	Re-Pier工法
朝日筑洋株式会社	インフラドクター
いであ株式会社	土石流検知アラートシステム
エポコラム協会 九州支部	エポコラム工法 (Loto・Taf・Pis工法)
株式会社オリエンタルコンサルタンツ	インフラ維持管理DX・安全・防災に関する新技術、AI交通事故リスクのオンライン予測技術、インフラマネジメント支援システム(橋梁版)による維持管理の円滑
オリエンタル白石株式会社	グラウト再注入の自動化 PC-Rev工法

○「出展者等紹介」の出展技術一覧のページ(第3階層)

九州建設技術フォーラム 2021
オンラインバージョン

092-284-9211 (受付時間: 9時~17時)

お問い合わせ

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお便り

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 担当

出展技術名 (インフラDX) インフラ維持管理DX・安全・防災に関する新技術、AI交通事故リスクのオンライン予測技術、インフラマネジメント支援システム(橋梁版)による維持管理の円滑

この出展者固有ページでは、以下の4つのコンテンツを設定して、閲覧者のみなさまに、それぞれのテーマ別に出演者のもとより、今回、本フォーラムに出展されました建設技術をより深く広くご理解いただくために技術解説カタログ、プレゼンテーションデータ、動画等を掲載しております。是非アクセスしてご覧いただけますよう、お願いいたします。



出展者の紹介

● ホームページ

■ 会社案内パンフレット



出展技術の概要

■ 出展技術概要書

■ AI事故リスクワンシートパンフ

■ 橋梁長寿命化計画の改訂ワンシートパンフ



PR動画



カタログ等

○「出展者等紹介」の出展者紹介固有ページ

5) リクルーティングプレゼンテーション (※専用ホームページ上での WEB 動画配信)

【プレゼン参加機関】・・・5社

(一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部/ (一社) 日本橋梁建設協会九州事務所

(一社) 日本建設業連合会九州支部/ (一社) 全国測量設計業協会九州地区協議会

(一社) プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部/

▼ (一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部



▼ (一社) 日本橋梁建設協会九州事務所



▼ (一社) 日本建設業連合会九州支部



▼ (一社) 全国測量設計業協会九州地区協議会



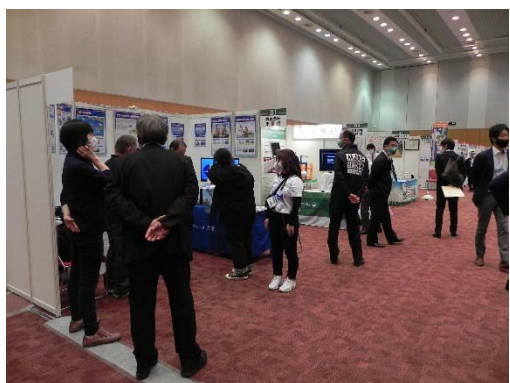
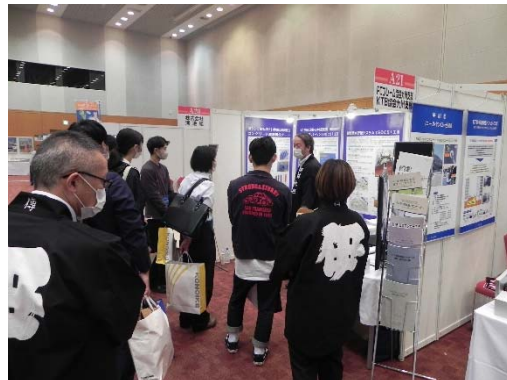
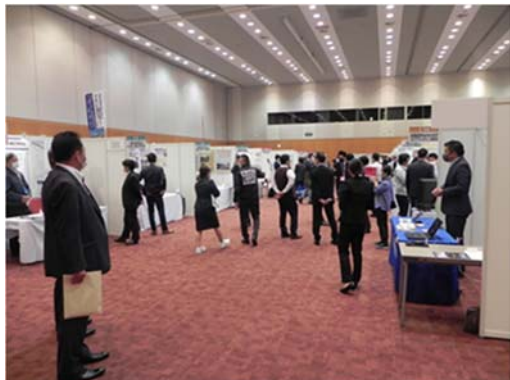
▼ (一社) プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部



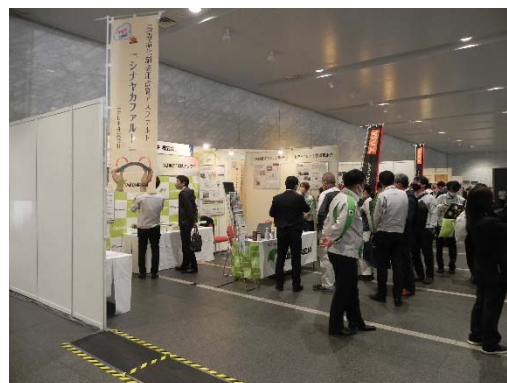
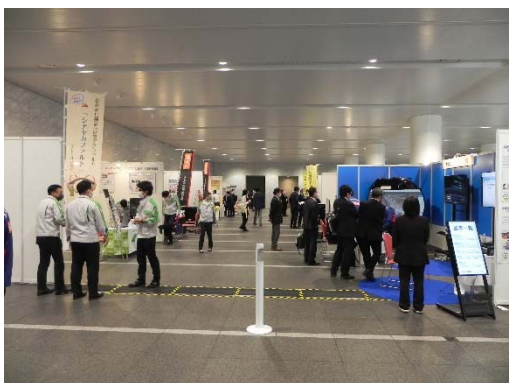
●2日目（10月26日）

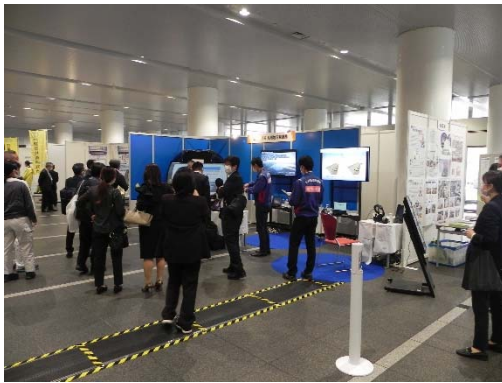
1) 技術情報のブース展示（※テーマ及び出展数は25日・26日共通）

▼2階展示会場



▼1階展示会場





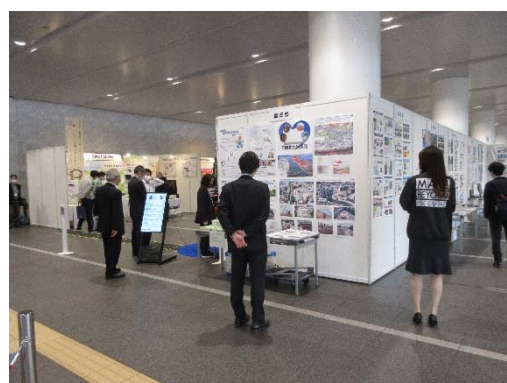
2) ポスターセッション

・ 出展数：※25日・26日共通



3) 自治体パネルの展示

・ 出展者：※25日・26日共通



4) WEB サイトによるオンライン出展

・ 出展内容：※25日・26日共通

5) リクルーティングプレゼンテーション (※専用ホームページ上での WEB 動画配信)

・ 動画配信：※25日・26日共通

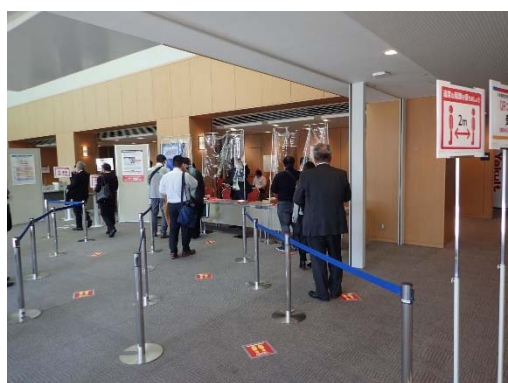
4. 新型コロナ感染拡大防止対策 (※感染拡大防止対策の一部を抜粋)



○フォーラム来場者用の専用入口設置



○サーモグラフィ検温



○受付場所のソーシャルディスタンス確保



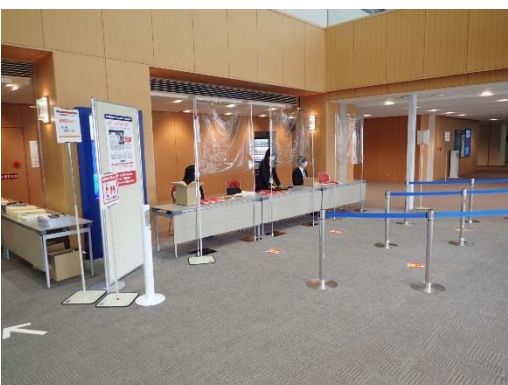
○受付をQRコード受付で対応



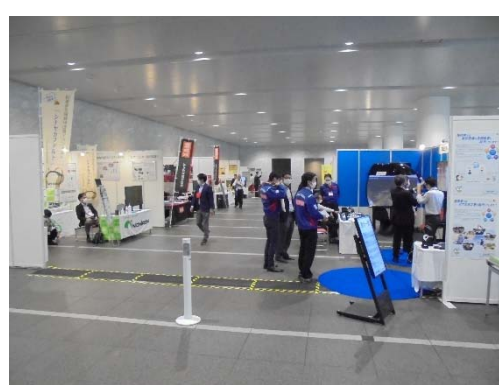
○カウンター設置で会場の入場制限実施



○会場の入口・出口を分離



○受付に飛沫防止用の透明幕を設置



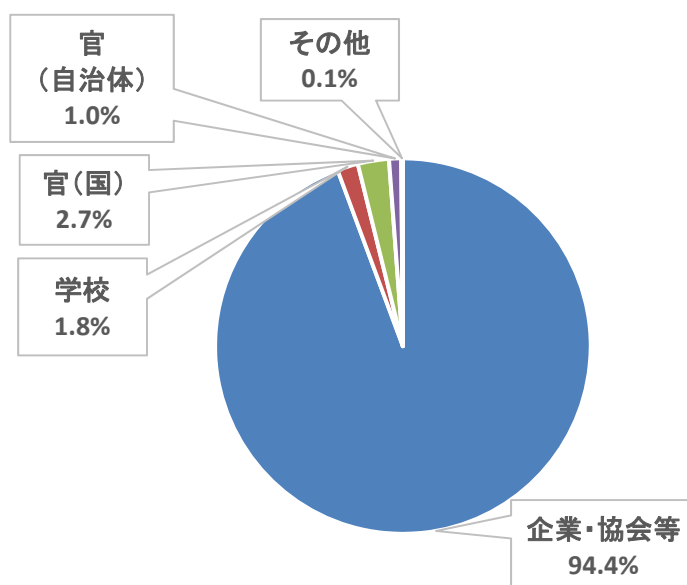
○会場内各所にセンサー式手指消毒機器配置

5. 入場者数内訳

分類		25日	26日	合計
産	※出身県別確認不可	1,103	900	2,003
	小計	1,103	900	2,003
学	大学	10	28	38
	専門学校	0	0	0
	高校	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計	10	28	38
官	国	31	26	57
	地方自治体	18	4	22
	その他	0	0	0
	小計	49	30	79
報道・その他		3	0	3
合計		1,165	958	2,123

		25日	合計
講演来場者	メインホール会場	483	483
	サブ会場(401~403)	34	34
	小計	517	517

【産学官別入場者内訳】



6. 出展方法および所属団体別参加実績

□出展ブース内訳

(ブース)

▼2020年実績

インフラDX	21
コスト	6
安全・防災	25
環境	4
品質	6
維持管理	16
合計	78

※学会×3を除く

□出展技術数内訳

(技術)

(技術)

インフラDX	27
コスト	8
安全・防災	37
環境	5
品質	9
維持管理	21
合計	107

※学会を除く

	4
	36
	9
	7
	16
合計	72

□参加企業・官・協会団体・学会数内訳

(組織)

企業	70
官(国)	2
官(自治体)	10
協会団体	23
学会	3
合計	108

□ブース・WEBサイト出展者履歴内訳

(組織)

(組織)

新規	10
出展実績有	75
合計	85

※共同出展を含む

	8
	54
合計	62

□ブース・WEBサイト出展者所属団体内訳

(組織)

(組織)

日本建設業連合会 九州支部	14
日本道路建設業協会 九州支部	2
日本橋梁建設協会 九州事務所	2
日本建設機械施工協会 九州支部	2
日本埋立浚渫協会 九州支部	2
プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部	3
全国特定法面保護協会 九州地方支部	4
全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会	0
九州コンクリート製品協会	2
建設コンサルタンツ協会 九州支部	14
その他(大学含む)	0
学会	3
発注機関	2
合計	50

※一部重複

	14
	1
	1
	2
	1
	3
	1
	0
	1
	10
	0
	3
	1
合計	38

□技術情報の提供方法

(組織)

ブース展示+WEBサイト	81
WEBサイト	4
合計	85

□ブース・WEBサイト出展者所在地

(組織)

(組織)

福岡	65
佐賀	2
長崎	0
大分	1
熊本	1
宮崎	1
鹿児島	0
関東・甲信越地方	9
近畿地方	0
中部地方	2
山口・中国地方	0
北陸地方	0
四国地方	0
北海道	1
東北地方	3
合計	85

	46
	1
	0
	0
	2
	1
	0
	6
	2
	1
	0
	0
	1
	1
	2
合計	62

▼2020年実績

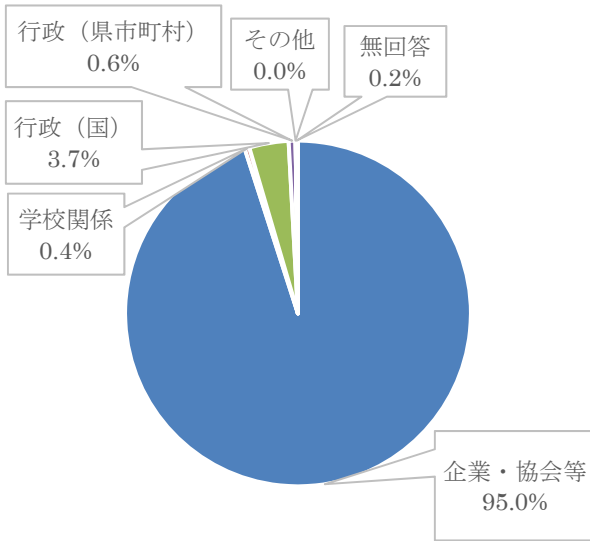
展示種類	出展機関所属団体	出展数		出展数	
ブ ー ス 展 示	日本建設業連合会 九州支部	産	14	14	
	日本道路建設業協会 九州支部		2	1	
	日本橋梁建設協会 九州事務所		2	1	
	日本建設機械施工協会 九州支部		2	2	
	日本埋立浚渫協会 九州支部		2	1	
	プレストレストコンクリート建設業協会		3	3	
	全国特定法面保護協会 九州地方支部		4	1	
	全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会		0	0	
	九州コンクリート製品協会		2	1	
	建設コンサルタンツ協会 九州支部		14	10	
	その他		40	35	
	土木学会 西部支部		学	1	1
	地盤工学会 九州支部			1	1
	九州橋梁・構造工学研究会	1		1	
	九州地方整備局	発注機関		1	0
	合計			89	72
	ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	日本建設業連合会 九州支部	産	0	0
日本橋梁建設協会 九州事務所		1		1	
プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部		1		1	
建設コンサルタンツ協会 九州支部		1		0	
土木学会 西部支部		学	1	1	
地盤工学会 九州支部			1	1	
九州橋梁・構造工学研究会			1	1	
西日本高速道路株式会社		発注機関	0	0	
九州地方整備局			1	1	
福岡県		官(自治体)	1	1	
佐賀県			1	1	
長崎県			1	1	
熊本県			1	1	
大分県			1	1	
宮崎県			1	1	
鹿児島県			1	1	
福岡市			1	1	
北九州市			1	1	
熊本市			1	1	
合計			17	16	

※一部重複

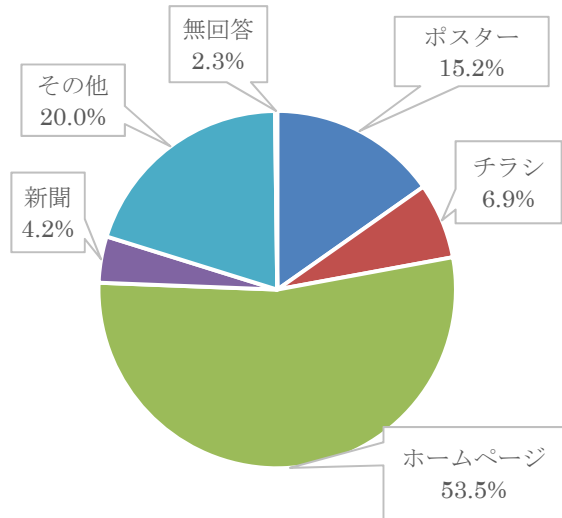
7. 来場者等へのアンケート調査結果

【来場者アンケート】（アンケート集計数：463件）

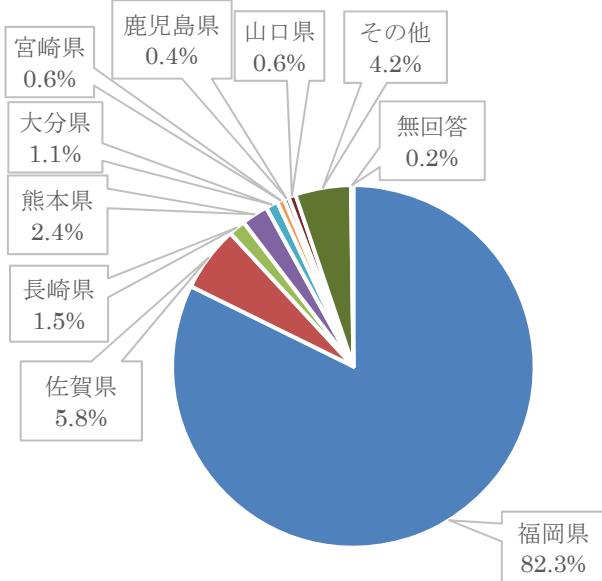
●職業は？



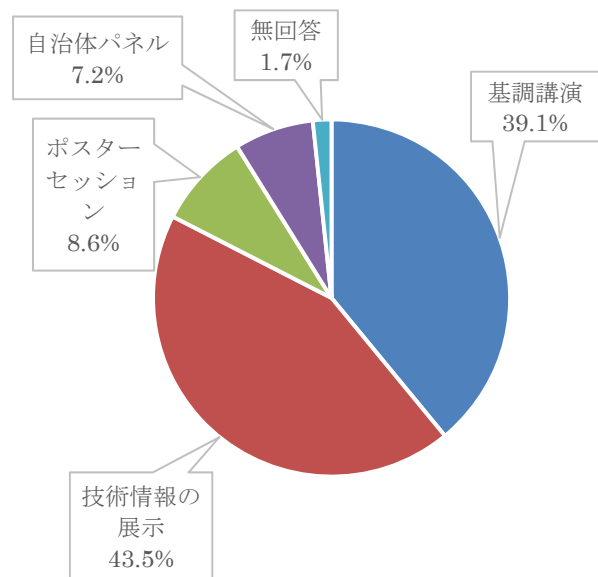
●何で知りましたか？



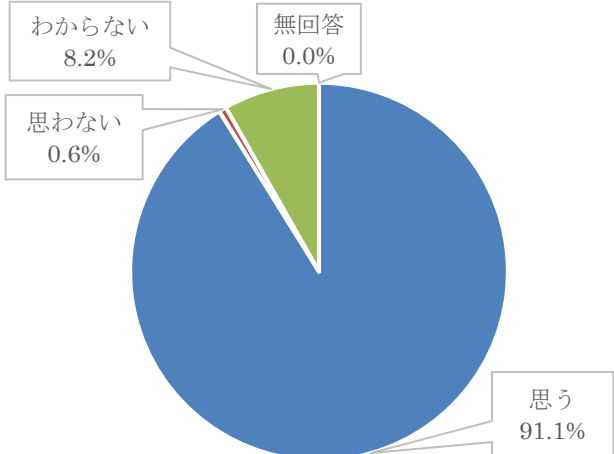
●どちらから来られましたか？



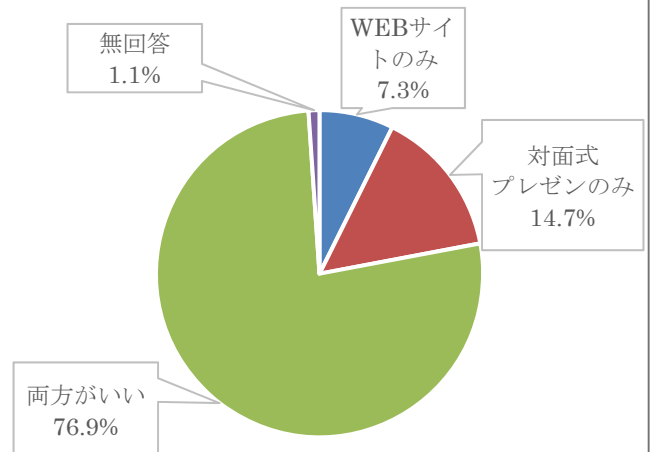
●印象に残ったプログラムは？



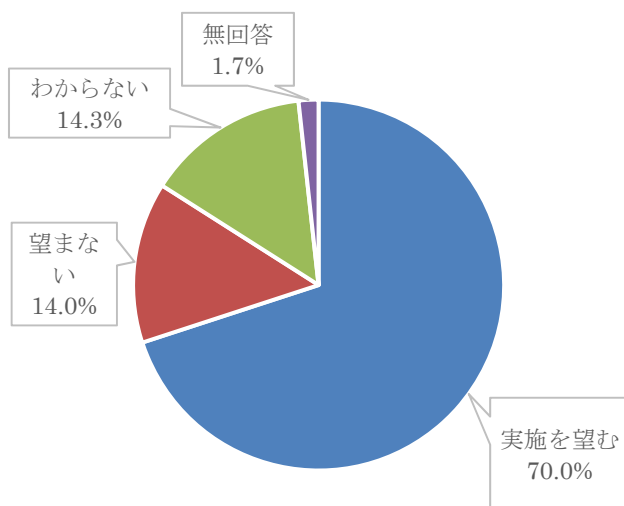
●今後参加したいですか？



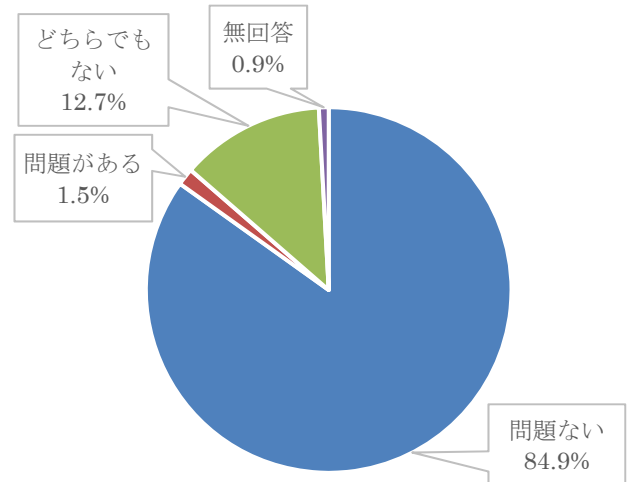
●プレゼンテーションの情報発信はWEBサイトも必要ですか？



●「基調講演」のライブ配信を今後も望むか？



●コロナ感染拡大防止対策をどう思うか？



●アンケート回答者の書き込み（一部を抜粋）

【Q4-1】「基調講演」について、今後聞いてみたいテーマ等ございましたらお聞かせ下さい。

- ・ BIM/CIM について。
- ・ 激化する災害対策について。
- ・ 建設業における環境配慮について。
- ・ データのセキュリティ管理の対応について。
- ・ 最先端の ICT 施工。
- ・ 流量観測の高度化について。
- ・ ウェルビーイング（心身とも健康な環境を目指す働き方改革）とその取組事例について。
- ・ 本省や九地整での DX の取組内容や、その後どのような結果になったか、について。
- ・ 維持管理の将来の展望について。
- ・ カーボンニュートラルの取組について。

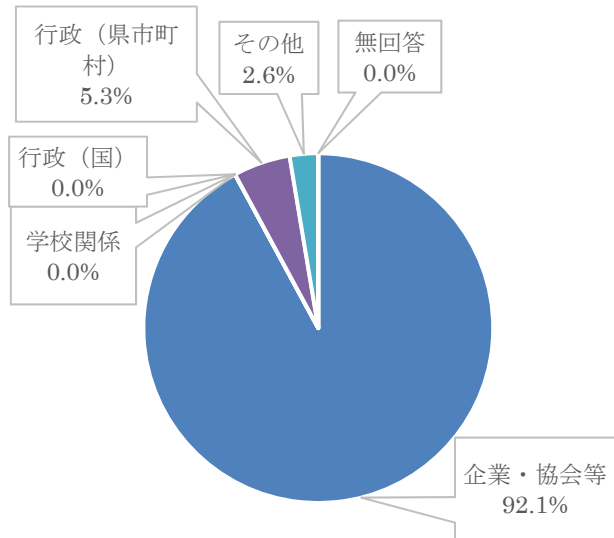
【Q9】九州建設技術フォーラムへのご要望がありましたらお聞かせ下さい。

- ・ コロナ終息後は、以前の開催形態を希望。
- ・ 今年度は官の来場者がなく、アピールの場としては物足りなかった。
- ・ 学生、官庁職員の参加が少ない。
- ・ 継続の開催を。新しい技術の取組を勉強したいので。
- ・ 基調講演の参加定員の増加。
- ・ 若者向けのセッションやイベント開催があると嬉しいです。
- ・ 技術情報展示が WEB 閲覧できるのは非常に良かった。今後も WEB を使った情報発信を進めて欲しい。
- ・ 10月26日のフォーラム参加とインフラメンテ参加の申込方法がわかりづらかった。
- ・ 工法に関する技術提供は豊富だったが、ソフト施策に関する技術紹介も欲しいと思った。
- ・ 最近ブース参加が減少しているのでは。また新しい情報を多くして欲しい。
- ・ 来年も開催を。また基調講演の WEB 配信も嬉しい。
- ・ 同種の業界でも各社の特徴があって、取組や実績など大変参考になった。
- ・ CPD のユニット数を増やして欲しい。

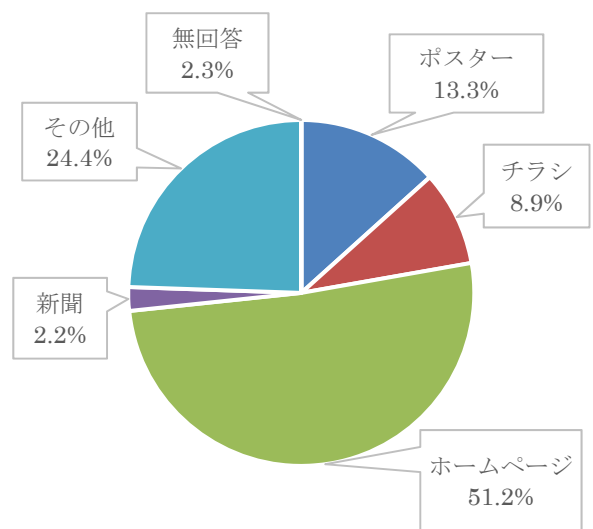
8. WEB サイト閲覧者へのアンケート調査結果

【WEB サイト閲覧者アンケート】（アンケート集計数：38件）

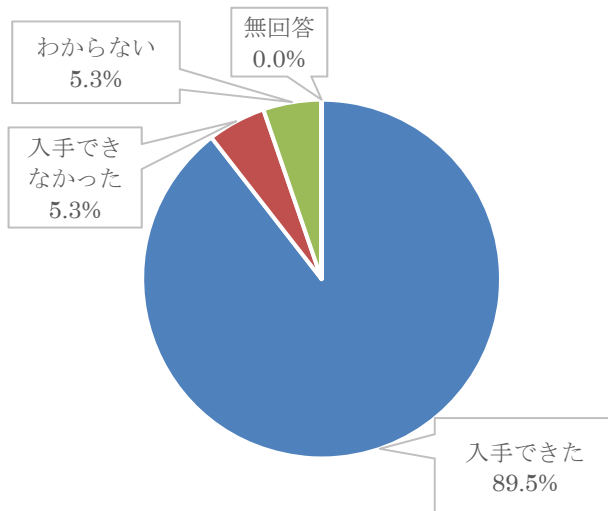
●職業は？



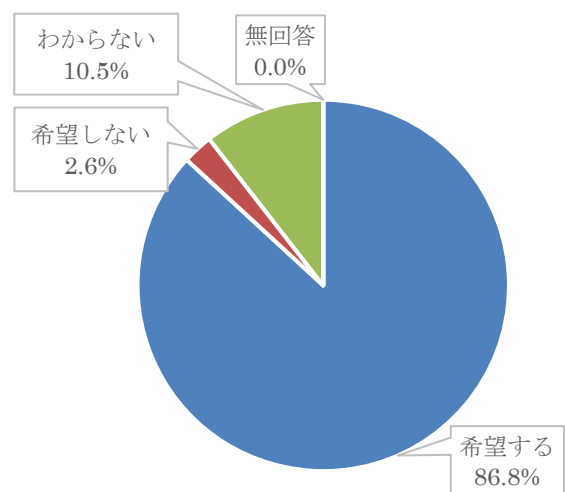
●何で知りましたか？



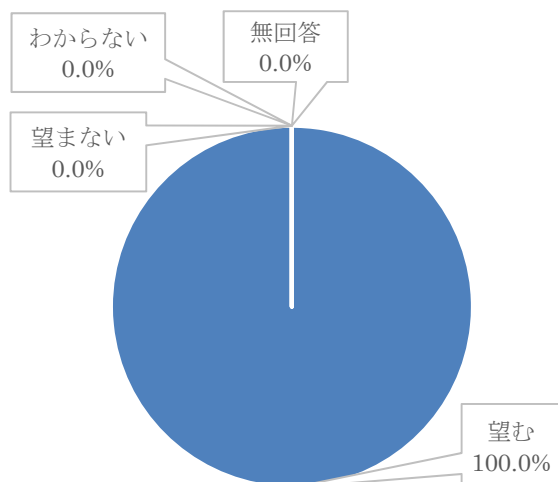
●WEB サイトから情報がスムーズに入手できたか？



●WEB サイトでの情報発信を今後も希望？



●「基調講演」のライブ配信を今後も望むか？



●WEB サイト閲覧者のアンケート回答の書き込み（一部を抜粋）

【Q5】WEB サイトの構成内容等について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

- ・企業の展示ブースを、WEB 上でも紹介して欲しい。
- ・開催プログラムの詳細が分かりにくかった。PC の問題かもしれないが、基調講演の終盤にフリーズした。
- ・構成はうまくできていると思う。
- ・「出展者等紹介」で各出展者の表示に切り替わる際にもジャンルや出展内容のインデックスが表示される方が、PC から閲覧する場合には見てわかりやすい。また表示にサムネイル画像などがあると業界にかぎらず興味をひくのではないか。

【Q7】「基調講演」について、今後聞いてみたいテーマ等ございましたらお聞かせ下さい。

- ・長寿命化
- ・メンテナンス技術の最新動向。
- ・建設事業の人材育成の手法（土木学生の拡大、高齢者の就業、女性活用、外国人の就業支援）
- ・建設コンサルタントや建設業者での BIM/CIM についての今後の活用状況と改善事項等について。
- ・再生可能エネルギーに関する建設技術の取組や情報管理体制の取組事例。
- ・ドローン等を活用した ICT 施工の実際に関する内容。
- ・建設業における道路の維持管理の経緯、現状とこれからの取組について。

【Q8】九州建設技術フォーラムへのご要望がありましたらお聞かせ下さい。

- ・今後も引き続き開催を。
- ・コロナ終息後でも、会場に行くことなく講演を拝聴できる WEB 配信はありがたい。今後もリアルとオンラインのどちらも選べる方法だと助かる。
- ・今後も WEB 配信を継続実施して欲しい。開催地である福岡までは遠隔地で移動に 4 時間程度かかりますので。
- ・次代を担う建設技術者の関心を高める上で、高専等による技術競争力の場（ロボコンなど）を会場に設け、九州独自のプログラムとして開催してもいいのでは。
- ・CPD に対する取組を明確にして欲しい。WEB 参加で CPD 申請する場合の扱いが不明。
- ・ICT 施工の技術進歩について、すばらしいものだと感じた。一層取組が進み、災害現場でのレポート情報が聞ければと思う。
- ・コロナ禍でライブ配信を希望したが、ゆっくり講演が聞けて良かった。
- ・基調講演で紹介された空間再現ディスプレイなど、会場参加にすればよかったと少し後悔。ライブ配信や WEB 公開は、時間や距離の物理的な制約を軽減できるので、コロナ終息後も継続して実施してもらえるとありがたいです。公開ありがとうございました。
- ・CPD の単位数が何に対して、何単位取得できるかが事前にわかりにくい。
- ・基調講演の講演内容について、事前に入手できるとありがたい。
- ・来年度以降も、オンライン WEB サイトの開設を。